

【別紙1】公共施設案内・予約システム前提条件

1 業務の内容

現在、市内の体育施設や公民館、会議施設等を利用する際に、公共施設案内・予約システム（以下「予約システム」という。）を使用して、利用の申請及び支払いを行っている。令和10年度に新しい予約システムが稼働できるよう、システムの構築と運用保守を行うもの。

2 前提条件

提案をいただく前提として、基本的な施設予約機能とあわせて考慮していただきたい要件等下記に示します。

(1) 対応施設・室場数

現在稼働している予約システムに対応している施設数及び室場数は、172施設、697室場（詳細は別紙2参照）であるため、その数の運用に耐えられるシステムであること。また、施設及び室場数の追加を行えること。

(2) 抽選予約

体育施設について抽選予約に対応できること。1次抽選、2次抽選を設定でき、設定作業はシステム構築事業者が行うこと。

(3) スマートロック連携機能

現在稼働しているスマートロックシステムとの連携（詳細は別紙3参照）を行うこと。

(4) キャッシュレス決済機能

ア 予約システム上でオンラインクレジット決済ができる機能を有すること。

イ 窓口キャッシュレス決済システムと連携できること。

(5) 帳票のカスタマイズ

領収書や使用許可書などの予約システムから出力できる帳票のカスタマイズができること。

(6) 利用実績等の出力機能

施設利用実績や利用者一覧などを出力できる機能を有すること。

(7) LGWAN対応

LGWAN環境から管理者側システムにアクセスすることができること。

(8) 現在のデータ移行対応

新しいシステムへの移行にあたって、現在のシステムからデータ移行（予約データ、利用者データ、職員データ、施設及び室場データ等）に対応できること。